

報道関係各位

住友不動産株式会社

防災意識の啓蒙と共有を図る 「日本橋二丁目通町会と初の合同防災訓練」実施

日本橋エリア最大の帰宅困難者一時滞在施設となる「東京日本橋タワー」にて

住友不動産株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：仁島浩順）は、日本橋消防署・中央区と連携し、オフィスビルテナントの皆様に加え、今般初めて日本橋二丁目通町会（東京都中央区、会長：山本嘉一郎）の皆様と共に防災意識の啓蒙と共有を図るべく、合同防災訓練を昨日実施致しました。

首都直下型地震発生が危惧される中、秋季全国火災予防運動の実施にも合わせ、「東京日本橋タワー」にて約 1,100 人が参加し、地域の防災性向上を目的に震度 6 強の直下型地震とそれに伴う火災発生を想定した避難訓練と消防署・地域の消防団による放水演習、ならびにまちかど防災訓練車や水消火器による放水訓練、起震車体験など様々な防災訓練を行いました。今回の合同防災訓練を機に、地域の方々に災害発生時の一時滞在施設としてもご認識頂き、今後も共助の体制を構築しながら地域の安全安心と災害に強い街づくりに寄与できればと考えております。



避難訓練①



避難訓練②



消防演習①



消防演習②

【当日スケジュール】

■ 13:30～14:25 「避難訓練及び消防署の演習・講評」

13:30	地震発生	《館内放送（全館）》
13:31	地震収束放送	《館内放送（全館）》
13:33	感知器作動	《5F ベルサール》
	火災発生	《想定出火階：5F ルーム 5》
13:37	避難放送①	《全館避難放送（真火災） 全館鳴動》 《4～7F》 避難訓練／特別避難階段を使用し公開空地へ
13:40	避難放送②	《8～21F》
13:43	避難放送③	《22F 以上、B2・B3F》
14:10	消防演習	《消防活動二輪車／一斉放水》
14:20	挨拶 講評	住友不動産 ビル事業本部中央事業所長 兼松公彦 日本橋消防署 永山智雄署長



日本橋消防署 永山智雄署長 講評



火災予防運動 PR

■ 14:30～15:30 「町会合同防災訓練」（はいばら様前・公開空地にて）

- ①AED・応急救護体験
- ②起震車体験
- ③煙体験ハウス
- ④まちかど防災訓練車（放水体験）
- ⑤水消火器体験
- ⑥帰宅困難者対策 PR（防災備蓄品展示等）



起震車体験



まちかど防災訓練車



水消火器体験



消防活動二輪車

【東京日本橋タワー】

◆特徴

- ・有事の際には、地下広場や公開空地の一部を帰宅困難者 1,400 名に一時滞在施設（約 3,840 m²）として開放します。またデジタルサイネージで NHK 放送や中央区防災情報も配信。
- ・免震&制振構造を採用し、エレベーター自動回復旧システムも備え、高い安全性能を確保。
- ・電気は 2 回線受電方式で事故に備えますが、災害時に変電所が事故により送電不能となった場合は、中圧ガスを使用し最低 10 日以上発電します。
ガス供給停止の場合も非常用発電機で 72 時間電力を供給する無停電対応ビル。
- ・敷地内には、非常用マンホールトイレ（3 基）や防災井戸も設置。

◆概要

所 在： 東京都中央区日本橋二丁目 7 番 1 号
敷 地 面 積： 7,441.71 m²
延 床 面 積： 136,630.28 m²
階 数 / 高 さ： 地上 35 階、地下 4 階、高さ 180m
竣 工： 平成 27 年 4 月 1 日
館内テナント： 26 社
在 館 人 員： 約 7,000 人

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先
住友不動産株式会社 広報部 TEL:03-3346-1042 担当:内藤